

事務連絡
平成21年5月22日

各
〔都道府県
保健所設置市
特別区〕
衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省
新型インフルエンザ対策推進本部 事務局

重篤化しやすい基礎疾患を有するもつ者等について

本日、新型インフルエンザに対する「基本的対処方針」及び「医療の確保、検疫、学校・保育施設等の臨時休業の要請等に関する運用指針」が示されたところである。

この中で、「基礎疾患を有する者等」を特に感染に注意を必要とする者としているが、その具体例としてこれまで文献に記載されたものを別添にまとめたので、貴管下の医療機関等に周知していただくようお願いいたします。

重篤化しやすい基礎疾患を有するもつ者等について

下記文献によれば、新型インフルエンザに罹患した者のうち基礎疾患をもつ者の特徴は次の通りである。

○ 文献 1

CDC、Morbidity and Mortality Weekly Report (MMWR) Vol. 58/May 18, 2009
Hospitalized Patients with Novel Influenza A(H1N1) Virus Infection California, April-May, 2009

【調査方法】

カリフォルニア州で 2009 年 5 月 17 日までに新型インフルエンザと報告された 553 例（確定 333 例、疑似症例 220 例）のうち、入院 30 例を検討した。

【基礎疾患等】

慢性肺疾患（喘息、慢性閉塞性肺疾患等）、免疫不全状態（T 細胞性免疫不全等）、慢性心疾患（先天性心疾患、冠動脈疾患等）、糖尿病、肥満、妊娠

○ 文献 2

New England Journal of Medicine May 7, 2009/05/21
Emergence of a Novel Swine-Origin Influenza A (H1N1) Virus in Humans

【調査方法】

2009 年 4 月 15 日から 5 月 5 日まで米国 41 州で発見され入院した 39 例について検討した。

【基礎疾患等】

自己免疫疾患、先天性心疾患、喘息、妊娠、重症筋無力症等

<参考>

季節型インフルエンザの高リスク群について

【出典】 CDC Report May 4, 2009

Interim Guidance for Clinicians on Identifying and Caring for Patients with Swine-origin Influenza A (H1N1) Virus Infection

- ・ 5歳未満の小児
- ・ 65歳以上の高齢者
- ・ 18歳未満の若年者で、アスピリンの長期投与を受けている場合、インフルエンザ後に Reye 症候群を来す可能性がある。
- ・ 妊婦
- ・ 小児および成人で、慢性の肺、心血管、肝障害、血液疾患、神経疾患、神経筋疾患、代謝異常を基礎疾患として持つもの
- ・ 小児および成人で、免疫抑制状態（ステロイド等の薬剤投与、AIDS）にあるもの
- ・ 養護施設、その他の慢性介護施設居住者